ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

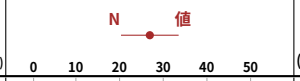
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-4(右岸)	調査位置				北　緯	36 ° 32 ' 04.3000 "
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所			調査期間	2009-10-10 ～ 2009-10-14	東　経	139 ° 49 ' 44.8000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	104.98 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	103.48	1.50	1.50		シルト (M)	暗褐		軟らかい	含水中～大位。細砂不規則にシーム状及びブロック状に混じる。		10/10 1.50
2	102.58	0.90	2.40		砂 (S)	褐灰	緩い		含水中～大位。上部細粒土含む。		
3	101.73	0.85	3.25		砂礫 (GS)	褐灰	中ぐらい		含水大位。φ10～40mmの円礫主体にコア長5cmの玉石点在。全体的に砂分多く混入。		
	101.33	0.40	3.65		砂混じり粘土 (CH-S)	褐		中位	含水大位。粘性中位。		
4					砂礫 (GS)	褐	密な		含水中位。φ10～40mmの円礫主体にコア長4cm～10cmの玉石混入。マトリックスは砂主体に細粒土混じる。5.00m付近薄く砂を挟む所あり。7.70m付近以深凝灰質呈す。		
10	94.98	6.35	10.00								
	94.53	0.45	10.45		凝灰質礫混じり砂 (S-G)	褐灰	中ぐらい		含水中位。主に中砂で若干細細粒土含む。φ40～30mmの円礫混じる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1	2	2	5／30	5
2.45					
3.15	6	3	2	11／30	11
3.45					
4.15	17	18	15／9	50／29	>50
4.44					
5.15	14	10	6	30／30	30
5.45					
6.15	16	34／8		50／18	>50
6.33					
7.15	23	27／8		50／18	>50
7.33					
8.15	13	11	13	37／30	37
8.45					
9.15	17	15	18／7	50／27	>50
9.42					
10.15	5	6	11	22／30	22
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/10
						10/13